

令和4年度第2回太宰府市立図書館協議会 会議録

日時 令和5年2月27日(月) 18:00~19:45

場所 プラム・カルコア太宰府 研修室1

出席者 【委員】 時里会長、永利副会長、中村委員、江口委員、原委員
【事務局】 文化学習課：中山教育部長兼文化学習課長、岡本係長、廣見
市民図書館：今村館長、佐藤司書

傍聴人 1名

教育部長兼文化学習課長あいさつ

○事務局

本日の令和4年度第2回太宰府市立図書館協議会につきましては、委員の過半数に出席いただいておりますので、太宰府市立図書館協議会規則第4条第2項の規定により、協議会は成立しております。

(協議会開会)

会長あいさつ

協議事項

(1) 令和4年度事業進捗状況について

○事務局

資料1、令和4年度事業進捗状況をご覧ください。

こちらの資料は、令和5年1月末の状況で作成しております。第1回協議会以降に単独で実施したふたつの事業について説明させていただきます。2ページ目の下から3番目、「おはなし会のクリスマス」は、昨年より参加できる人数を増やして、事前申込制で行いました。参加人数は定員70名のところ、子ども33名大人26名計59名の参加でした。時間は昨年同様30分と、コロナ禍以前より短い時間でしたが、内容はパネルシアターや参加型のペープサート、大型紙芝居など盛り沢山となり、帰り際には司書が折り紙で手作りしたサンタのオーナメントをお子さんに、菓を大人に配付し、たくさんの方に喜んでいただくことができました。次にいちばん下の文庫育成講座についてです。この講座は、太宰府市子ども文庫・読書サークル連絡協議会に加盟している団体が地域で実践している読書推進に還元できることを習得するための講座ですが、今年は福岡を中心に人形劇講演活動を行う、「人形劇団やじろべえ」さんを迎え、講演を鑑賞した後に演技指導を行っていただきました。講演は一般の方も参加できるように公開し、児童25名、大人45名、そのうち文サ連の方は19名と計70名の方に鑑賞いただきました。例年この講座で習得されたことは、次年度の図書館事業や地域での活動などで実践いただいております。説明は以上です。

○時里会長

では、皆様からご意見・ご質問などありましたらお願いいたします。

○中村委員

いちばん最初が【交流事業】でその次が【読書推進事業】。その下が【子どもの読書活動推進事業】【学校支援事業】となっています。先ほど文庫育成講座のところで紹介があった、子ども文庫・読書サークルに子どもが所属しているんですが、そこがこの事業の半分ほど参加、実演をさせていただいています。これを見たときに、図書館が主催であるのか、ボランティア団体が主催であるのか明記されていると分かりやすいのではないかと思いますので、もし、追記できるようにしたらお願いしたいと思います。2ページ目のいちばん上のすくすくえほんファーストブック事業は司書の方がされてますし、赤ちゃんゆびのおはなし会も図書館の司書、その下のいないいないばあのおはなし会や太宰府おはなし会は読書ボランティア。実演しているところが違いますのでそこを明記した方がよいと思います。

○事務局

ありがとうございます。今年度から作成するときの参考にしたいと思います。

○時里会長

全体は図書館の事業になるんでしょう？司書の方がされたり、ボランティアの方がされたりですが、全体としては図書館の事業という見方ですね。

○事務局

事業計画の方には、「内容」のところにボランティアにしてもらってるとかが分かるようにしています。こちらは結果だけなので載せていませんでした。「実施団体」を加えるなど、報告の時も分かりやすいようにしていきます。

○永利委員

いくつかあるんですが、最初の【交流事業】のところで、文庫懇話会が2月21日にあっている、それからボランティア交流会が2月14日にありますがその報告がなかった。それと【学校支援事業】のところで、来年度の事業計画では図書館実習の受け入れが書いてあるんですけどここにはありませんで、実はうちの大学から3名お世話になってますので、それは書いてもらってもいいかなと。それとこれは質問ですが中学校の個人貸出が0件となっています。これは1月末の状況だと思いますが方策とかなされているか、どういう結果でこのような結果になっているか教えていただきたい。以上、3点です。

○事務局

最初の懇話会の分なのですが、この資料を作成したのが1月末の時点だったので2月の分は記載していません。2点目の図書館実習は、4年度までは【読書推進事業】の方に入れてまして、下から3番目「図書館見学等受入」のところで図書館実習（10日間）1回を入れさせていただいています。5年度の事業を見ていただくと、これは【学校支援】の方にあるんですが、来年度から移そうということになりまして、混乱させてしまい申し訳ありません。

○時里会長

実習は独立して、【学校支援事業】に入れたということですね。

○事務局

来年度の分を作る時に、こちらに動かした方がよいのではないかとということになって、4年度と5年度で齟齬ができております。

○時里会長

あと、中学校個人貸出の件は？

○事務局

この前も言われたのですが、なかなかですね。今のところ、学校の司書の方たちの支援の方は、私達は資料の依頼があった時だけお答えしている感じで、実際の取りまとめは学校教育課に在籍している方がされているので、そちらからの働きかけだったりします。あと、私達は司書の方と顔合わせもできてない状態で、もし3月に学校図書館司書の研修会があれば参加させていただきたいと。私達も授業支援の0件というのを何とかしなければと思っていますし、中学校には個人貸出も実施していますが、昨年は何件かあったのが今年は0件だったんです。授業支援だけではなく、個人の中学校への貸出も、改善できればと思っていますが、そういった研修会でしかお会いする機会がないので、研修会があれば参加させていただきたいと館長の方から申し入れをしていただくようにしています。

○事務局

司書さんの集まりにも、参加させてほしいと何回か言ったのですが、コロナ禍だからと参加できなくて。学校司書さんにまだ浸透できてなくてこういう残念な結果になっています。

○時里会長

前回は話題になっていましたよね。連携の問題としてね。まあ、コロナ禍ということもあったでしょう。来年度に向けて…というところでしょうか。

○中村委員

前回、司書の方の小学校中学校の巡回がうまくいっていないという課題が上がっていたと思いますが、その後何ヶ月か経って、来年度どうしていこうというものがあれば聞かせてください。

○事務局

学校図書館の支援員という形で新たな人員がつかなかったのが、難しいと思います。今、図書館自体も人の入れ替わりが激しくて、その方達を育てる方が先になって、なかなか仕事が回っていない状況でして、新しい事は難しいです。

○事務局

授業支援ができるように人員を増やしてほしいという要望だけは出しています。人数が増えれば、巡回も可能になるかと思います。実際資料の貸出しをするときには、学校司書の方と顔を合わせてお話する機会があるので、その時にどういうことで困っているかちょっとお聞きすることもできる。配本が大変だということは以前から分かっていたので、そこが何とかなればなと人員増の要望だけは出し続けていきます。

○事務局

今年度は用務員さんが図書館まで取りに来てくださることができるようになったので、配本については少し、半歩くらいは改善したのかなと思います。

○江口委員

学校図書館司書の研修会を、学校教育課がやっていると思うんですね。以前は図書館司書の先生だけでやってたんですけど、要望で学校にいる司書教諭も参加させて欲しい、所謂学校の中での連携がうまくいっていない。司書の先生方は大体勤務が2時くらいで終わる。そうすると、子どもを帰した後はもう司書の方がいらっしやらないという状況なので、もう少し研修等に参加してもらうことで、せめてその場だけでもしっかり話ができるように。先ほど研修会等の話をされましたけど、学

校教育課の研修の中に入ることは可能だろうと思います。その場だったら、全員、司書教諭も揃うので。三者揃わないとなかなかこの辺は変わらないような気がするので、学校教育課と連携して進められたらどうかと思います。コロナが理由でできないのなら全然できないのであって、来年度は学校現場も色々な研修は参集型でしようという方向に舵を切り始めていますので、中止になることはないのかなと思います。断る理由もないと思いますのでね。顔を合わせるだけでも全然違ってくるでしょうから。

○永利委員

私は小郡で館長をしていた関係で、学校図書館支援センターというものがありましたから、支援センターの方と一緒に館長が毎年始めに「今年度こんな事業を図書館でやりますから学校側も利用してください」ということを校長先生と直接面談して、その時に学校司書さんも同席してもらうことを8年間やってきたんですね。校長先生の中には「永利館長、あなたの言うことはよくわかったからもう来てもらわなくてもいいよ」という方もいらっしゃいましたけど、粘り強く行って図書館のPRをする、顔が分かるような状況にする。システムティックな話もよく分かるんですけど、まず人のつながりをよくやらないと次の段階に進まないんじゃないかなと思います。

○時里会長

人とシステムの連携は前回からの課題ですよ。太宰府市では学校教育課での話し合いに図書館が入っていくことになりますか。

○事務局

入れてほしいと言ってるんですが、ここ数年叶ってなくて。今年度の春は「中止」だったので入れませんでした。年度途中にあってることは知らなかったの、こちらからももう少し聞いていかないといけなかったなと思いました。

○時里会長

来年度の事業計画にも中学校の個人貸出が載ってるようですので、積極的に動いていただけたらいいかなと思います。

○時里会長

ほかにございませんか。事業の中で中止のものがいくつかありましたけど、これはコロナが原因ですか。それとも別の理由がありましたか。

○事務局

2ページ目の読書ボランティア講座は、おはなし会での読み聞かせをされる方たちを募集する講座になるんですが、講座をした後に受け皿となる場所が難しい状況だったんですね。この講座を受講された方で、希望があれば図書館でしているおはなし会に参加して実施していただけますよということ、地域や小学校で読み聞かせの活動をしているところにも参加できますよということのを例年していましたが、コロナ禍で小学校の方での読み聞かせも順調にいけない。図書館でのおはなし会でもボランティアさんに参加していただけてないという状況だったので、今年度まで中止にさせていただきました。来年度は世の中のコロナの捉え方が変わっていきそうなので、時期をずらして9月あたりに実施したいと考えてます。次の項目のおりがみ広場は図書館のおはなしコーナーでしている事業ですが、夏休みに実施しているので司書の人数が足りなくなりますので、図書館に在籍しているボランティアさんに依頼して実施していますが、コロナ禍で活動が制限されて、在籍者数も減ってしまって手伝っていただくのも難しかった。それと今年の夏の時期は、まだ距離を

取って活動しなければいけない時期だったので、おりがみ広場は実施できませんでした。たのしい人形劇は、短大のサークルに公演をさせていただいてますが、短大の方からの申し入れで中止になりました。日程の都合がつかなかったため、残念ながら実施できませんでした。いちばん上のファーストブック事業は、1歳6か月児の集団健診の時に実施していたもので、現在は個別受診となっていますので中止しましたが、来年度は集団健診が再開しますのでそれに合わせて実施する予定です。

○中村委員

読書ボランティアの講座のところで、小学校中学校の読み聞かせ活動が受け入れられていないということで、4月以降何か受け入れをしていくという話があれば教えてください。

○江口委員

読書ボランティアについては学校で揃えていることはないんです。本校の例をとりますと、9月か10月、秋くらいから始めて先週が最後でしたかね、例年の2分の1くらいは実施ができました。教室に入っただいて、子どもたちはマスクをしたままでという形で読み聞かせをしていただいています。前半はコロナのためにしていません。これは学校によって違いますので、うちの例がすべてではありません。把握もできてません。

○中村委員

中学校で私が行っている校区は、以前は東中学校と学業院中学校に入らせていただきました。人数が足りない時は西中学校も行かせていただきましたが、中学校ではどのようにしてらっしゃったんでしょうか

○原委員

次年度の読み聞かせの計画をどのようにするか、まだ行きついていないのが現状です。読み聞かせの代わりに何かできないかということで、去年一昨年とやった取り組みがあります。直接お話は聞けないけれど、ご飯の時に朗読CDを流して読み聞かせの代わりにしようとか、生徒に読み聞かせの練習をさせて、それを流してみようとか。次年度のことについては、今後の検討課題です。

○中村委員

小学校の方は、基本的には学校に任せてるという感じでしょうか。

○江口委員

ボランティアの方の考え方もあるし、学校の条件もあるんですね。感染状況も学校によって全然違っていて拡大する時期が違ったりするので。本校の場合は秋ぐらからボランティアの方がやりたいというご意向をお持ちでしたし、うちも落ち着いたのでということでも来てもらいました。それから定期的に来ていただいています。

○中村委員

できているところと、できていないところがあることは聞いております。できれば、太宰府市内の学校で、できているところとできていないところで差が生まれないようにしてあげたいなとは思っています。

○時里会長

小学校・中学校たくさんありますからね。ちょっと違ってくるかもしれませんね。

○中村委員

徐々にでも検討していただければということで。

(2) 令和5年度予算および事業計画について

○事務局

まず、市の予算案についてご説明いたします。資料2の令和5年度歳入予算（案）をご覧ください。こちらは太宰府市の予算案になります。昨年度から大きく変わったところを説明いたします。まずいちばん上の総務管理費補助金ですが、昨年はこちらからパワーアップ事業として図書購入費がついたのですが、来年度はこちらの臨時交付金がなくなりまして、令和5年度は補助金がありません。次に雑入について、空港周辺整備事業助成金として1千万円を計上しております。こちらは移動図書館車の入れ替えに対する補助金です。次のページ、歳出予算案になります。先ほど説明いたしました移動図書館車に関して、17の備品購入費に購入費用として2千400万円を計上しております。この補助として、先ほどの空港周辺整備事業助成金が1千万ついております。移動図書館車の購入については、予算案が通りましたら5月頃に入札を行い、令和5年度内の納車を予定しております。13の使用料及び賃借料に計上しております電算機等賃借料については、今年度契約をしました学校図書館システムとの連携を図るものでありまして、令和5年度から稼働予定となっております。市の予算については以上になります。

次に、財団の予算案について説明します。今日机上に配付した令和5年度太宰府市民図書館事業計画書（案）の最終ページに収支計画書があります。まだ、財団理事会の承認を得ていませんので暫定予算案になります。福利厚生費が増えておりますが、労働保険料の雇用保険の料率が改定されたためです。通信運搬費が少し減っているのは、インターネット使用料が長く使うと割引率が増えるためです。消耗品費についても減額しているんですが、コロナ関連用品と財団の会計システム用品で、今年度購入の必要があって、来年度はその分減額となっております。修繕費は、今年度に移動図書館車のタイヤ6本の交換をしたので、来年度は必要ありませんので減額となっております。印刷製本費は、今年度に利用カードを作成し、これがかなり高額だったので来年度は減額となっております。諸謝金は、今年度の財団30周年の特別な費用30万円が不要になったことと、「こどものための夏の終わりの演奏会」の諸謝金が令和5年度からひまわりオーケストラと契約して委託料として計上することとなったため減額しています。その分委託料が増額しています。説明は以上です。

○時里会長

ご意見ご質問がありましたらお願いします。

○中村委員

移動図書館車のことで質問です。新たに一台購入ということではないのですか？

○事務局

プラスではありません。今の移動図書館車が来年で10年になりますので、だいたい10年に1度くらい買い替えてあげないと、ずっと重い物を積んだままです。

○中村委員

今ある一台を買い替えるということですね。

○事務局

そうです。今四代目が走ってまして、今度五代目になります。

○中村委員

それは今までと同じような形のすくすく号なんですか？

○事務局

若干手を入れるところはありますが、基本的には変わりません。使い勝手が悪いところだけ変えます。

○中村委員

先日史跡地にすくすく号が来た時に、すごくいい試みだなと思ったので、もっともっとすくすく号が外に出て行って、ホントの出会いが広がったらいいなと思います。すくすく号で何かできたらなと思います。何か計画とかはないんでしょうか。

○事務局

今まで通りの予定です。

○中村委員

また史跡地には行きませんか？

○事務局

それはご要望があれば。史跡地なので、こちらから勝手に行って停めるわけにはいかないのです。

○時里会長

ほかにございませんか。

○永利委員

実は来年度からですが、こちらの図書館のYAサービスについて、うちの大学の研究ゼミの中で一つテーマを作って、3～5人くらいの学生に色々協力とか自主研究や調査をさせます。キャンパスネットワーク会議の中で、市役所の各課の課題に対して大学・高校とコラボできないかということで挙げられた内容に沿って行います。図書館にとってはそれが課題ということですので、そうすると図書館の支出予算の中でその課題解決のためにどのくらいの予算を使われるのかということをお教えいただきたい。

○事務局

予算案を提出する時期が、8～9月秋でして、まだ永利委員からのオファーを受けてなかった時期なので盛り込まれていません。

○事務局

実際司書としてカウンターにいて肌で感じるのですが、夏頃に進路や進学についての本を求める学生や保護者の方が多いなと感じます。太宰府市はやっぱり学校が多いので、YAコーナーの方には進路進学の棚を作ってはいますが、コロナ禍ということもあり、付け焼刃みたいな棚になってしまっています。予算は付けてなかったのですが、これだけ求められているので、自分たちでできる範囲で手造りで改造して、今度の特別整理期間の時にもう少し進路進学の本を資料費から購入して充実させたいねとYAの担当者と話しています。

○永利委員

来年度が初年度ですから、そんなにこれもあれもやりましょうと具体的には出てこないと思いますが、いずれご協力をお願いします。

○時里会長

令和5年度の当初予算額は、移動図書館車購入分を除くと、令和4年度の当初予算額より減額になっています。少し気になりますね。それと、この空港周辺整備事業助成金というのはどういうお金なんですか。これは全額移動図書館車に突っ込んでいるということですか。空港周辺整備事業と図書館とではピンとこないですよ。

○事務局

これは、要は騒音対策ですね。飛行機もどんどん進化して音もしなくなっていくので、範囲は狭くなってきているんですけど、昔は太宰府まで迷惑的な部分がありまして、その範囲内に入っているところについてはこの助成金を出しましょうというものです。中央公民館までは範囲に入ってませんが水城地区のあたりは入っていて、大野城市さんとかも校舎のエアコンとか助成金をもらってあると思います。現在太宰府市は範囲に入っていないですが、これについては、公民館のテレビの買い替えとか昔のエリアの基準で対象にしているとなってますので、そのひとつとして移動図書館車も対象となっています。本来はここが拠点になりますので該当しないんですが、移動図書館車というのは市内全域を回っておりますので、そういった理由で認められたものではあります。

○事務局

今走っている四代目の移動図書館車もこの空港周辺整備事業助成金をいただいて購入しています。大野城市や春日市もこれを活用していると思います。那珂川市や筑紫野市は対象外なので、補助としては宝くじ事業の補助とかを使っているのかもしれない。

○事務局

この補助の方が付きやすいですよ。宝くじの方は大変だと聞いています。何年もかかって。筑紫野市さんはエンジンを1回積み替えないといけないくらい買い替えできなかったそうです。

○永利委員

筑紫野市さんはコロナの分で購入されませんでしたか。

○事務局

宝くじとお伺いしてたような気がしたのですが、違ったかもしれません。

○時里会長

最初の話に戻りますけど、移動図書館車を除いたら前年度より下がっているんじゃないかと。

○事務局

市の予算の方なんですけど、歳出の方を見ていただいたら、備品購入費の図書の200万が減額になっています。元々の金額は当初の予算額で、コロナ予算で付いた分が200万あったんですが、その分が市の予算としてはいただけなくて、元に戻したという形になっています。200万円の減額なのでその分があると思います。他は上がっているところもあるので、いちばん大きい原因は図書購入費じゃないかなと思います。指定管理料は人件費の増などで若干上げさせていただいてますが、あとは例年どおりかと。

○時里会長

図書購入費は、1,300万円くらいの中で200万円の減額は結構な割合ですよ。うちの大学も一緒です。しわ寄せが、図書購入費になるんですよ。

○事務局

今回はそういった形になりましたけど、文化学習課内や館長とも話をして、図書の増冊が求められていることなので、次年度に向けて要求をしながらやっていかないといけないなと考えております。

○時里会長

今は当初予算で、補正とかで予算が付いて補填されているのを見たこともあるので

ね。

○事務局

そういったところも努力しながらやっていきます。

○時里会長

他にございませんか。なければ令和5年度の事業計画を事務局から説明の方をお願いします。

○事務局

今日お配りした資料の事業計画書（案）をご覧ください。1、2ページは全体的な、図書館をどう運営していくかということについて書いております。図書館の中心的事業として、本館及び移動図書館「すくすく号」での利用を推進します。また、2年前から特に力を入れている時事特集などでの情報提供も行います。特集については、来年度当初に文化ふれあい館の展示とのコラボも決まっております、森鷗外の展示をされるんですが、図書館でも特集をするし、5月の読書会カフェでも取り上げる予定です。それから、7月には図書館システムが更新されますので、学校図書館と連携したシステムになります。図書館は利用カードをスマートフォンで表示することと移動図書館での利便性アップを目指しています。今回は同じシステムベンダーになりますので、この更新のための休館は蔵書点検を含めて2週間、いつもより2日ほど多いくらいの期間でやっていくことにしています。

次に、3ページからの表の分について説明させていただきます。こちらの事業については例年通り行う予定ですが、大きく変わるの**【子どもの読書活動推進事業】**のブックスタートです。ようやく4月から4か月児健診が集団健診に戻るため、おはなし会方式に戻せることになりました。今後も、子育て支援課と協力して行います。それから、すくすくえほんファーストブック事業ですが、1歳6か月児健診も集団検診に戻るの**【学校支援事業】**で健診会場で行います。こちらはコロナ禍前に子育て支援課、保健センター（現母子保健係）と少しやり方を変えたいと協議しておりました、おはなし会方式ではなく図書館は読書相談、子育て応援係は育児相談を個別に行う方向でやる予定です。それから、大きな事業としては4ページの七夕まつりです。令和3年度、4年度と、事前申込制にして行いましたが、5月8日に新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類に変わりますので、できればコロナ禍前の状況に戻せないか福岡こども短期大学と太宰府市子ども文庫・読書サークルと協議中です。それともう一つ図書館の大きな事業として、こどものための夏の終わりの演奏会があります。こちら七夕まつり等の実施状況を見ながら、申込制でない開催を検討します。先ほど言ったように、**【学校支援事業】**の方に大学からの図書館実習受入を一項目増やしまして、今までの**【読書推進事業】**の「図書館見学等受入」は、保育所とか大学からの図書館見学受入とか、個人での「今司書課程を受けているんだけど、説明してほしい」と通信教育を受講している方から要望があって、そういう時にはこちらでカウントします。事業については以上です。

○時里会長

ご説明ありがとうございました。皆様からご意見ご質問等ありましたらお願いします。

○永利委員

先ほどコンピューターが学校図書館と連携するという話がありましたが、具体的には利用者情報とか、本の情報とか、そういったものもどこかのサーバーと一緒に管理するのですか。

○事務局

利用者情報は連携しません。図書の方を連携してお互いに見れるような形です。サーバーはより安全な庁舎の方に置きます。庁舎とこの建物は光回線で繋がってますので、それを利用します。

○時里会長

学校図書館との連携は新規の事業になる訳ですよ。太宰府市内の小学校中学校全部でしょうか。

○事務局

そうです。今までは全く別のシステムだったものを一緒にして、図書館からの支援の方ももう少しやりやすくなると。今図書館が使っているシステムになることで、学校司書さんも分からなかったら図書館に聞くことができる。そこらへんで、コミュニケーションが取れたらと思っています。

○時里会長

先ほどの中学校個人貸出にも有効だということですね。

○事務局

今のやり方が授業支援も個人貸出も手書きなんですよね。電算が共通になっていく過程でどのようにしたら便利なのかということを検討していきたいです。

○永利委員

小郡では、学校との相互貸出とか要望とかはメールのやり取りがいちばん便利ですね。メールでこの本を貸してくださいとか、今度授業でこの本を使いますとか。学校司書さんが小郡の場合は配送システムがあって、シルバー人材の方に届けてもらってますので、こちらは用務員さんですから大量のものは対応できないかもしれませんが、情報のやり取りができれば、それはなんとかなるかもしれませんね。

○時里会長

太宰府市内の高校や大学とのシステム連携の可能性はあるんですか。現在は太宰府市の図書館へ直接行って借りていますね。

○事務局

図書館の電算システムは文化学習課が予算を持って、学校の方は学校教育課が持っている。お互いに出し合っているという形です。なので、高校や大学が入るとそこからクリアですね。

○時里会長

太宰府市の図書館にあるかどうか大学の図書館から検索出来てキャッチできるみたいに便利になればいいかなと思います。

○永利委員

小郡は、三井高校と小郡高校が同じシステムです。それは最初に事業として国から補助金をもらうために、学校連携の形で特色ある取り組みにしないと行けなかったもので、小中高まで、専門学校が1校入ってますけど、16校が1つのサーバーで。まず学校だけ全て補助金使ってやって、市立図書館の連携は、また別の機会ですね。サーバーが2つあるのは無駄だと財政課長から言われたので、今もその状況です。学校教育課が高校の端末代とかも出しているんで、予算、財政の方からはいつも言われているんですが、高校の分までみないといけないうのかと。これは国から補助金をもらう最初の時に小郡の特色としてそれがあるということで。なんかの機会にならないとなかなか難しいんですよ。太宰府市内は高校が4つありますからね。私立もね。小郡は私立

がなくて2校です。

○時里会長

規模が違いますね。大学も多いですもんね。

○永利委員

ちょうど県立高校が電算化されてなかったんですね。今は個別に電算化してありますので、そこまで現場から要望があるかどうか。

○時里会長

中学生が調べ物をしていて、大学の図書館にしかないとなったら取り寄せたりとかね、そういうことができるようになればいいかな。ほかにございませんか。なければ、協議事項2件は以上になります。

報告・その他

(1) 第3次子ども読書活動推進計画の策定について

第3次子ども読書活動推進計画の策定について事務局より報告。